

# 松木末亀さんら3人

## 第16回市民賞

11月3日、文化の日に表彰

市政発展に功勞のあつた個人や団体に贈られる「第16回市民賞」に、今年個人三人が選ばれました。市民賞を決める選考委員会（岡岡富次会長・委員十人）は十月十八日に開かれ、市民から推せんの方の中から松木末亀さんら三人を表彰することを決めました。表彰式は、十一月三日（文化の日）に市役所で行われ、小笠原市長から表彰状と記念品が贈られます。

### 《教育文化》

#### 松木末亀さん

（東崎・82歳）



県立高知農業高等学校に在職中の昭和二十年四月から二十九年間、同校の生徒にクラブ活動として茶道、華道の指導を行い、情操教育に力を尽くされた功績は大きい。また、同校退職後は自宅に茶道、華道教室を開き、個人指導を行う傍ら、市の地区公民館、部落公民館などに精力的に指導に出かけるなど、その熱意と行動力は高く評価されている。

昭和四十九年に南国市文化推進

協議会が結成されると同時に茶道部の理事として、文化推進に努力され、市内はもとより県下各地においても松木氏の指導と感化を受けた数多くの子弟が茶道、華道を通して、芸術文化、生活文化に尽力されており、氏の精神文化に対する潜在的な影響力は、大きいものがある。

### 《社会福祉》

#### 高橋増治さん

（岡豊町・80歳）



長い期間、教職員として職責を果たされ、勇退後は社会福祉活動などに活躍されている。

昭和三十三年、地区睡会老人クラブ会長、岡豊地区社会福祉協議会理事に選任され、以後、岡副会長を経て同会長、市社会福祉協議会理事として、現在に及ぶ二十年の長きにわたり、心豊かな福祉社会の実現に努力されている。

氏の提唱により始まった南国市演芸大会では、運営委員長として手腕を発揮され、大会は市民の憩いの場として、多くの人の共感を呼んでいる。

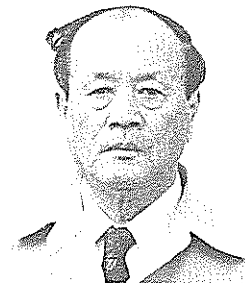
また、ゲートボールの普及にも力を入れ、今年八月に東京で開かれた「内閣総理大臣杯、三世代交流全国ゲートボール大会」には、県下で初の代表、岡豊チームを率い監督として出場するなど、地域はもとより市の社会福祉協議会運営に貢献した功績は大きいものがある。



### 《産業経済》

#### 岡林 続さん

（廿枝・69歳）



農業委員、農協理事、農園芸部長と幅広く農業行政、農業の振興に務められ、高知県の代表産業である施設園芸の定着にも努力推進された功績は大きい。

特に、昭和三十三年に廿枝土地改良区を設立し、地域の改善に寄与されたことは高く評価されている。また、農事試験場の建設、四十九年発足の香南清稲組合の建設の際には、用地の交渉や周辺整備に取り組み、周辺の者との話し合いの中心となり、先頭となって実現された大きな役割を果たし、三島地区構造改善事業にも尽力されるなど、多くの業績がある。

現在、廿枝土地改良区理事長、南国市国分川改修促進協議会副会長、長岡農協常務理事の要職を務め、活躍されている。